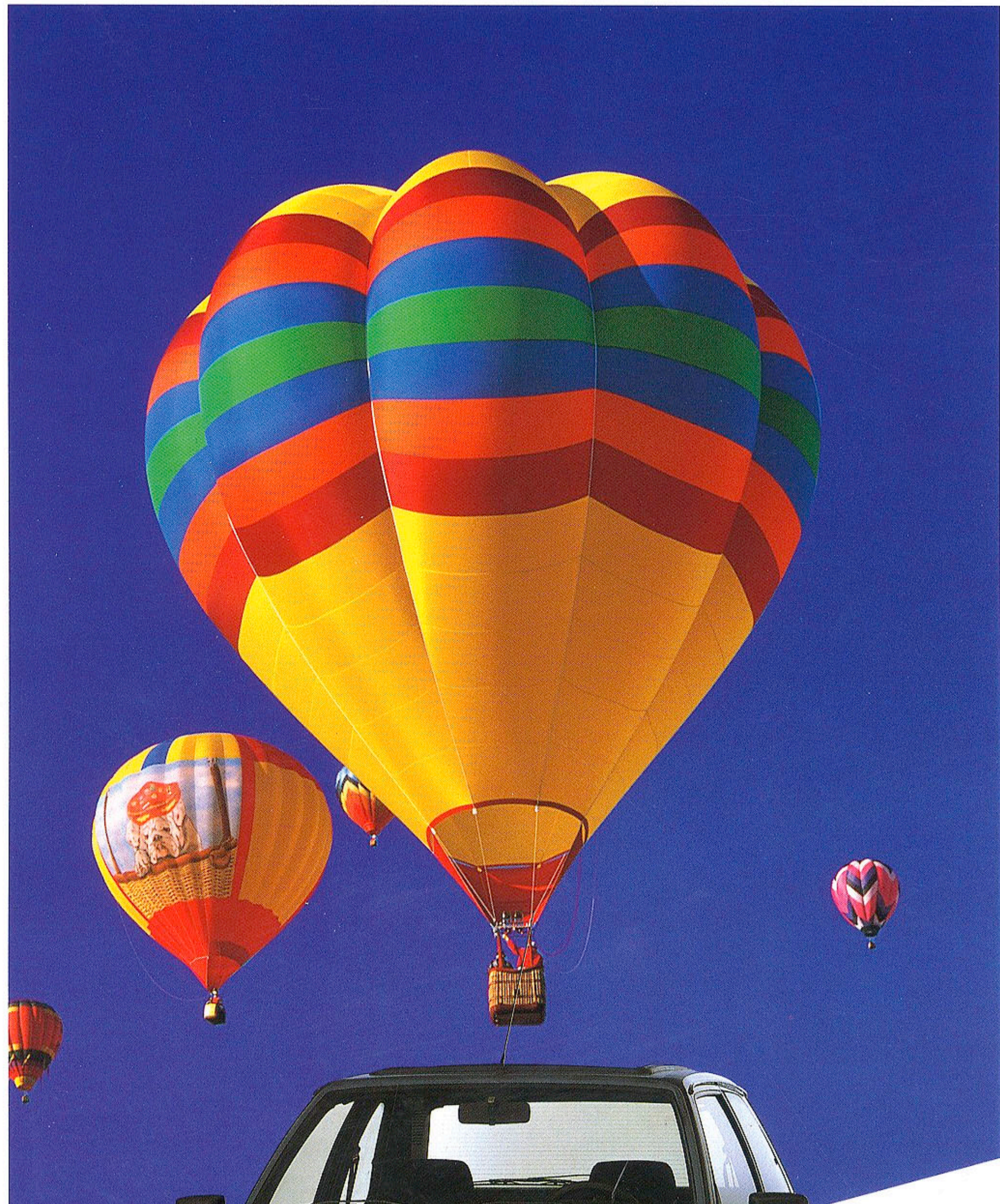


PEUGEOT



309

SI-GTI





L'ESPRIT DE COMPÉTITION「競争の精神」。それは、自動車創成期より続く

プジョーの伝統を今日までささえてきた不変の哲学。同時に、わたしたちの

車づくりの原動力として、今なお燃え続ける情熱そのものです。わたしたち

は、自動車のクオリティを高める、より理想的な手段として、レースという

困難なフィールドを選びました。以来100余年。勝利するためのシビアな

テクノロジー戦争や、記録への挑戦という、自動車メーカーとしての名誉を

かけた戦いを経験。そこから学んだのは、「妥協なきアグレッシブな姿勢」、



競争というゲームを心から愛し、愉しもうとする「スポーツマン・シップ」、

そして常にトップを狙う意志「チャレンジング・スピリット」。「競争の精神」

を母体とするこれらは、プジョーエンジニアリングの礎です。プジョー車の

かもしだす粋、数字には表すことの出来ない、味わい深くスポーティーな

フィーリングはここから生まれ、育まれます。ステアリングを握り、アクセル

を軽くブリッピング。その瞬間、プジョーは伝統のすべてを語りはじめます。

地に放たれた粋——L'ESPRIT DE COMPÉTITION



気持ちが、 スポーツしている。

スポーツをするように、クルマを走らせる。
アクセルを踏み込んだときのレスポンスのよさは、
瞬発力のすぐれたスプリンターを思わせる。
軽快なハンドリング、そしてしっかりとした足まわりは、
イメージ通りのドライビングを現実にする。
心を熱く躍動させる、スポーツ・コンフォート。

PEUGEOT 309 GTI。

PHOTO: 309 GTI チェリーレッド





いつもの街が、 好きになった。

待ち合わせの時間より早く、レストランに着いた。
見なれた風景なのに、いつもより新鮮な印象を受ける。
さりげなく存在を主張するこのクルマは、
街のたずまいに華やかさを添える術を心得ている。
風景としなやかに対話する、洗練された美しさ。

PEUGEOT 309 SI。

気持ちとクルマが、対話している。

コックピットに座り、クルマに語りかける。
あくまでも操作しやすいように配置されたスイッチ、
視認性のよいメーターは、わたしの気持ちを受けとめてくれる。
煩わしさや不自然さという言葉とは無縁の、快適設計。
ドライブを快適にするための、人に通ずる感性。
わたしの気持ちとクルマが対話している。



PHOTO:309GTI(5MT)



PHOTO:309SI(4AT)

- **メーターパネル**
パネルには、メーターと警告灯が見やすくレイアウトされている。ブレーキパッド摩耗警告灯や冷却水量警告灯があるから安心だ。クルマの状態を知らせる各種警告灯を装備。スピードメーター・タコメーター・トリップメーター・燃料計・水温計・油圧計・油温計・燃料残量警告灯・冷却水量警告灯・冷却水温警告灯・エンジン油圧警告灯・充電警告灯・パーキングブレーキ警告灯・ブレーキパッド摩耗警告灯・排気温度警告灯・緊急停止警告灯。
- **集中ドアロック**
ガレージにクルマを入れる。運転席側ドアをロックすると、すべてのドアがロックされた。集中ドアロックは施錠のし忘れを防止するシステム。ドアだけでなく、テールゲートも作動します。
- **防眩式ルームミラー**
後続車のライトがまぶしい。ライトの反射を抑えるために、ルームミラーのノブを動かし、ミラーを切り替えた。夜間の安全走行をサポート。
- **光軸レベリング装置**
トランクルームに重い荷物を積んだ。いつもよりリヤが沈み込んでいる。ハロゲンヘッドライトの角度を少し下に向けた。クルマの姿勢に応じて、ヘッドライトの照射角度をコックピットからのリモコン操作で調整できます。
- **リヤクォーターガラスオープナー**
さわやかな風を感じたくなった。手元のレバーを操作し、リヤクォーターガラスを開けた。リヤクォーターガラスは手元操作で開閉自在。(GTI)
- **CDチェンジャーコントロール付AM/FMカセットステレオ**
サウンドが欲しくなった。CDのプレイボタンを押すと、お気に入りの曲が4つのスピーカーから流れた。トランクルームに設置するCDオートチェンジャーと、すべてのソースをコントロールできるワイヤレスリモコンはオプション。CD10連装が可能です。
- **デジタルクロック**
時計を見ると、12時30分。約束の時間には悠々と間にあう。デジタルクロックは、イグニッションがONのときに点灯します。
- **エアコン**
エアコンのスイッチをONにする。室内は快適な温度になった。見やすく、しかも操作しやすい快適設計です。
- **シートバック調節**
ロングツーリングに出かける。ゆったりできるように、心もちシートバックの角度をゆるやかにした。リクライニングは無段階で調整できます。
- **パワーステアリング**
この取まわしの良さが、狭い駐車場でドライバーにプレッシャーを与えない。ドライバーの意思に素早く応答するラック&ピニオン式。さらに扱いやすいワアアシスト機構を組み合わせました。
- **本皮革巻き4本スポークステアリングホイール**
本皮革の感触が、手のひらにフィットする。このステアリングホイールは、わたしをスポーツドライブへと誘惑する。本皮革ならではのグレード感のあるステアリングホイール。(GTI)
- **ホーンスイッチ**
道を譲られた。ありがとうの言葉の代わりに、ホーンスイッチを押した。ホーンスイッチは、ライティングスイッチの先端に装備。ステアリングを切っても一定の位置で操作できるメリットがあります。ホーンは、エアホーン(GTI)を採用。
- **ルーム/マップランプ**
夜道で迷ったようだ。マップランプを灯け、ルートを確認する。ルームランプの手前には、角度を変えると点灯するマップランプを装備。
- **パワーウィンドー**
料金所が近づく。ドアにあるスイッチを押し、ウィンドーを開けた。前部座席は、パワーウィンドー。運転席側のドアには運転席/助手席の両方のウィンドー、助手席側のドアには助手席のウィンドーを操作できるスイッチを装着。

PHOTO:309GTI 5F7(4AT)

わたしが、ゆとりに抱かれる。



PHOTO:309GTI 5F7 (4AT)

ゆったりしたシートに身をまかせ。
この指定席は、わたしを疲れさせることを知らない。
コンパクトなセミノッチバックでありながら、余裕のスペース・ユーティリティは生活を豊かにする。
生活を愉しむことを志向した、心地よさ。



PHOTO:309SI



●ウォークイン機構

後部座席に乗り込む。ウォークインレバーを引き、シート全体を大きく前傾させた。これなら無理なく乗車できる。
後部座席への乗降性を考えた、快適機構です。(GTI 3ドア)

●ポケットリア

信号が赤に変わった。ルートを確認するために、フロントサイドポケットから地図を取り出した。
充実したポケットリアは、小物などの収納に便利。グローブボックス(照明付)・フロントドアポケット・リアサイドポケット(GTI 3ドア)・センターコンソール

●スライドガラスサンルーフ

自然と対話したくて、サンルーフを開ける。開放感が生まれ、すがすがしい空気で満たされた。
ガラスサンルーフは、ヘッドスペースにゆとりを生むスライド式。開閉は手動。(GTI)

●リヤELR3点式シートベルト

パッセンジャーの安全を確保するのも、ドライバーのつとめだ。パッセンジャーがシートベルトをしないと、安心できない。
リアの2座席にはELR3点式シートベルトを装備。

●リヤエアスポイラー

リヤのエアスポイラーが、スポーツイメージを高める。GTIの名にふさわしい雰囲気がいい。
エアロダイナミクスを追求し、GTIにはスパルタンな外観をつくるリヤスポイラーを、SIには整流効果の高いスポイラーを装備。

●リヤウインドーワイパー／ウォッシャー／デフォガー

ルームミラーを見る。冬場はとくにリヤウインドーの曇りが気になる。リヤウインドーワイパーとデフォガーをONにした。
後方の視界をクリアにします。

●キーレスエントリー

両手には荷物を抱えている。キーを差し込まずに、ドアロックを解除した。
キーレスエントリーは、離れた場所からドアのロックをリモコン操作で開閉できる便利なシステム。集中ドアロックと連動しています。(GTI)

●フレキシブルなラゲッジスペース

友人と3人で旅行に出かける。リヤシートをひとつ倒してラゲッジスペースを広げ、3人分の荷物を積み込んだ。
リヤシートは左右それぞれ独立可倒式。荷物がトランクルームに収まりきらない場合には、量に応じて片一方あるいは両方を倒せば、広々としたラゲッジスペースを確保できます。

プジョーのエンジンには、体温がある。

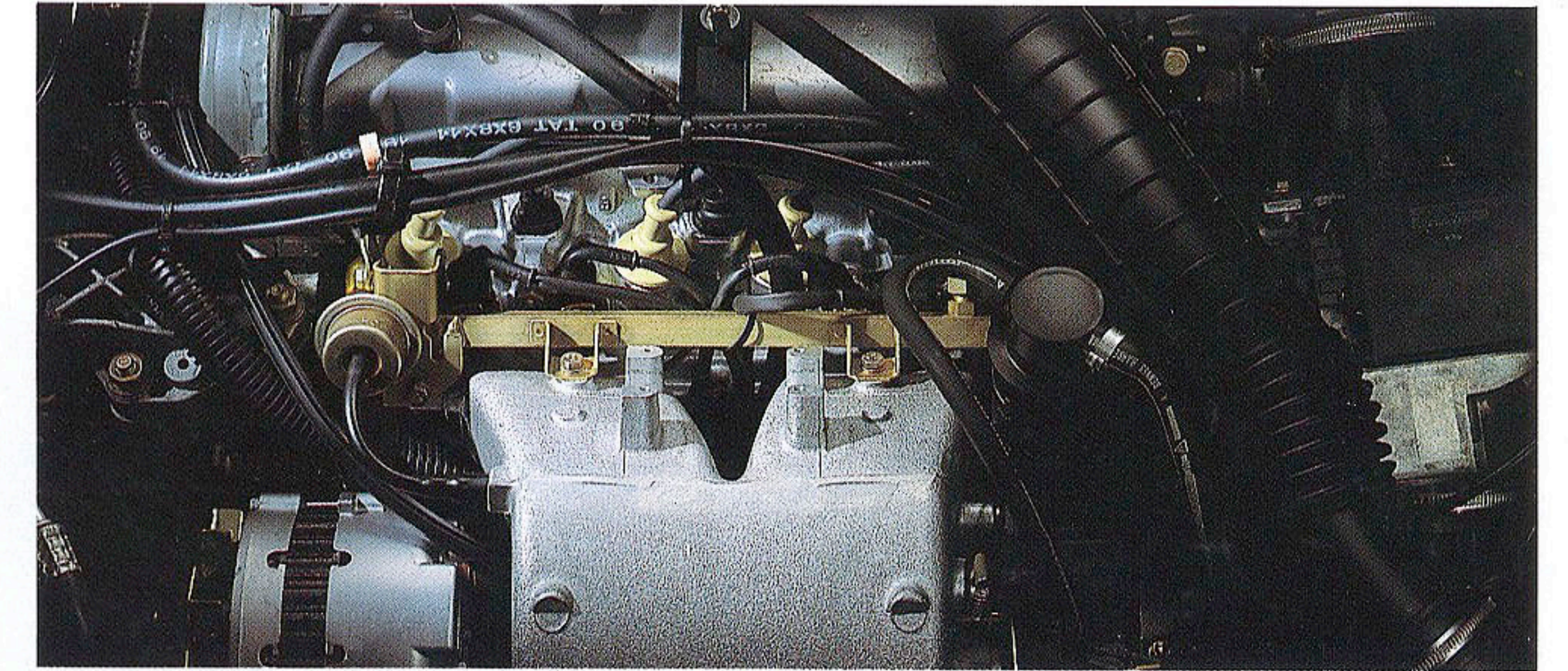


PHOTO:309SI

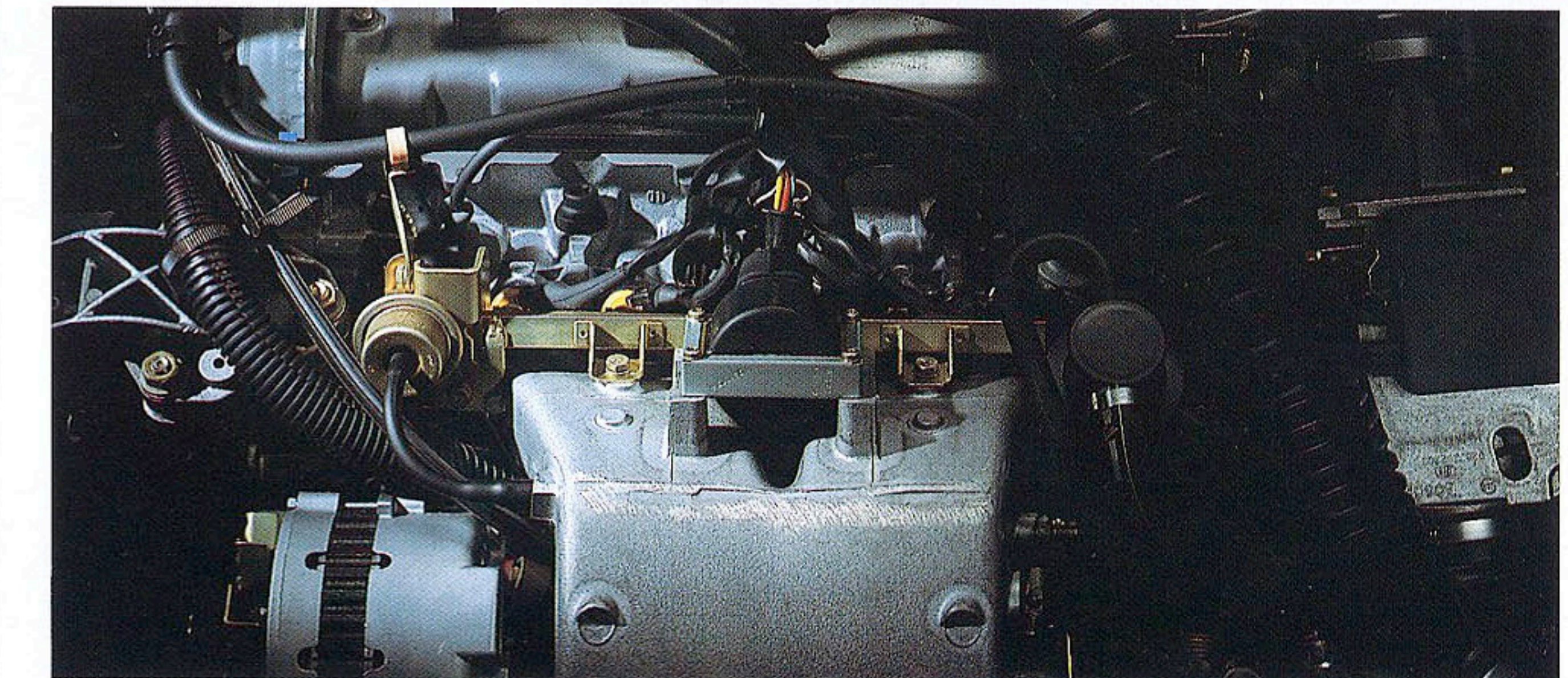


PHOTO:309GTI

加速したいとき、すばやく加速できる。
そして、常用回転域ではなめらかさを失わない。
309シリーズのステアリングを握ると、自らがクルマを操ることの愉しさがわかる気がする。
プジョーのエンジンは、人の心と語りあう。

●熱い走りを実現する4気筒パワーユニット。

アクセルを踏んだときのレスポンスのよさ。プジョー309にお乗りになると、まずこのフィーリングを感知されるでしょう。ドライブングプレジャーを生むGTI、実用性を高いレベルでソフィスティケートしたSI。
309シリーズに搭載された1904cc水冷直列4気筒SOHCエンジンは、熱いスポーツフィールを秘めています。

GTIは信頼性の高いボッシュモトローニクインジェクションを装備し、最高出力120PS/6,000r.p.m.*、最大トルク15.2kg・m/3,000r.p.m.*を発生。キビキビとした俊敏な走りを生み出します。SIはLジェトロニクインジェクションを装備し、最高出力100PS/6,000r.p.m.*、最大トルク14.4kg・m/3,000r.p.m.*を発生。小気味よいしなやかな走りを実現します。
*EEC値

●信頼できる制動能力、ブレーキシステム。

危険回避のため、ブレーキペダルを踏み込む。速やかにクルマは減速した。309には、走りを楽しむための頼もしいブレーキシステムが装備されている。
GTIには4輪ディスクブレーキを採用(フロント/ベンチレーテッド)。9.7インチの大口径ディスクが余裕の制動力を発揮します。SIには、フロントにディスクブレーキ、リヤにリーディングトレーリングドラム方式を採用。すべてのモデルにサーボアシスト付前後2系統油圧システム、ブレーキパッド摩耗警告灯などを装備し、安全性を充実させています。

●走りの血統、サスペンションシステム。

スポーツ選手の、よく鍛えられた足腰。卓越のロードホールディングをもたらすプジョー309のサスペンションからは、こんなイメージが連想された。
強靱にしてしなやかな足まわりは、フロントにはコイルスプリングとアンチロールバー付マクファーソンストラット、リヤにはトーションバーとアンチロールバー付トレーリングアームを装備。信頼性に富んだ4輪独立懸架方式の採用で、フレキシブルなサスペンションとしています。ラリーフィールドでのノウハウは、市販車の一台一台に生かされています。

●自在の走りをささえるトランスミッション。

スポーツドライブを愉しみたいから、わたしは、マニュアルを選びたい。街で乗ることが多いワイフは、オートマがいいと言っている。
GTI(5MT)には、スピーディで俊敏な走りに対応するクロスレシオの5速マニュアルトランスミッションを採用。また、GTI(5D7)とSIにはZF4速オートマチックトランスミッションを採用。シフトアップ時でもショックが少なく、スムーズな走りを実現します。

●軽量化、剛性、耐腐食性を高次元で両立。

プジョー309で、さまざまな道を行った。それらのシーンを通じて感じたのは、ボディの頼もしさだ。車体の高剛性化と軽量化を高次元で両立させるために、ボディには弾性限界の高いHEL鋼、剛性材料、樹脂製燃料タンクなどを採用。長いホイールベースは、ラゲッジスペースの大きなゆとりを実現しました。また、塗装面では、亜鉛メッキアノードパネル、プライマー塗装、カチオン電着塗装など、最新の耐腐食技術を駆使。大幅な耐久性の向上を実現しています。

PEUGEOT 309

LINE UP BODY COLOR/SEAT MATERIAL & COLOR/WHEEL

ボディカラーとインテリアのコーディネート

	SI(4AT)	GTI(5MT)	GTI 5ドア(4AT)
シート素材	ベルベット	ベルベット	ベルベット
シート色	アントラシトグレイ	ブラック/レッド	ブラック/レッド
ボディカラー	チェリーレッド	●	●
	ブラック	●	●
	グラファイトグレイ	●	●



309 SI

(PHOTO) 309SI 4AT ボディカラー:グラファイトグレイ シート:ベルベット(アントラシトグレイ)

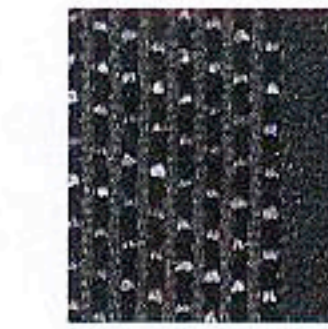
BODY COLOR



チェリーレッド



グラファイトグレイ



ベルベット
=アントラシトグレイ

SEAT MATERIAL & COLOR

WHEEL



フルホイールキャップ & 175/65HR14 ラジアルタイヤ



309 GTI (3D)

(PHOTO) 309GTI3ドア 5MT ボディカラー:ブラック シート:ベルベット(ブラック/レッド)

BODY COLOR



チェリーレッド



グラファイトグレイ



ブラック



ベルベット
=ブラック/レッド

SEAT MATERIAL & COLOR

WHEEL



アルミホイール & 185/55VR15 ラジアルタイヤ



309 GTI (5D)

(PHOTO) 309GTI5ドア 4AT ボディカラー:チェリーレッド シート:ベルベット(ブラック/レッド)

BODY COLOR



チェリーレッド



グラファイトグレイ



ブラック



ベルベット
=ブラック/レッド

SEAT MATERIAL & COLOR

WHEEL



アルミホイール & 185/55VR15 ラジアルタイヤ

●仕様および車体色は予告なく変更することがあります。 ●仕様および車体色によっては納期が異なる場合があります。詳しくは販売店におたずねください。 ●掲載写真の色は印刷のため実際と異なる場合があります。

SPECIFICATIONS 309主要諸元

●タイプ	ブジョー309		
	SI 5ドア	GTI 3ドア	GTI 5ドア
型式	E-30F	E-3DK	E-3DK
ハンドル位置	右		●
	左	●	
トランスミッション	4速オートマチック	5速マニュアル	4速オートマチック
●寸法・重量			
全長(mm)	4,050		
全幅(mm)	1,630		
全高(mm)	1,380	1,395	
ホイールベース(mm)	2,470		
トレッド			
前(mm)	1,410		
後(mm)	1,380		
最小回転半径(m)	5.1		
車両重量(kg)	1,030	990	1,030
乗車定員(名)	5		
●エンジン			
型式	水冷直列4気筒 OHC		
	XU9JL	XU9JAZ	
内径×ストローク(mm)	83.0×88.0		
総排気量(cc)	1,904		
圧縮比	8.4		
燃料供給装置	Lジェトロニック	モトロニック	
最高出力(ps/rpm) [EEC]	100/6000		120/6000
最大トルク(kg・m/rpm) [EEC]	14.4/3000		15.2/3000
燃料タンク容量(ℓ)	55		
●動力伝達装置			
クラッチ形式	3要素1段2相形	乾式単板ダイヤフラム	3要素1段2相形
変速比			
1速	2.779	2.923	2.779
2速	1.577	1.850	1.577
3速	1.152	1.360	1.152
4速	0.851	1.069	0.851
5速	—	0.864	—
後退	3.258	3.333	3.258
最終減速比	3.150		3.823
駆動方式	前輪駆動		
●ステアリング			
歯車形式	ラック&ピニオン(パワーアシスト付)		
●ブレーキ			
主ブレーキ形式	前	ディスク	ベンチレーテッドディスク
	後	ドラム	ディスク
ブレーキ形式	サーボアシスト付前後2系統油圧作動式		
●懸架装置			
懸架装置	(前輪)	独立懸架	マクファーソン(コイルスプリング、アンチロールバー付)
	(後輪)	独立懸架	トールリングアーム(トーションバー、アンチロールバー付)

OPTION



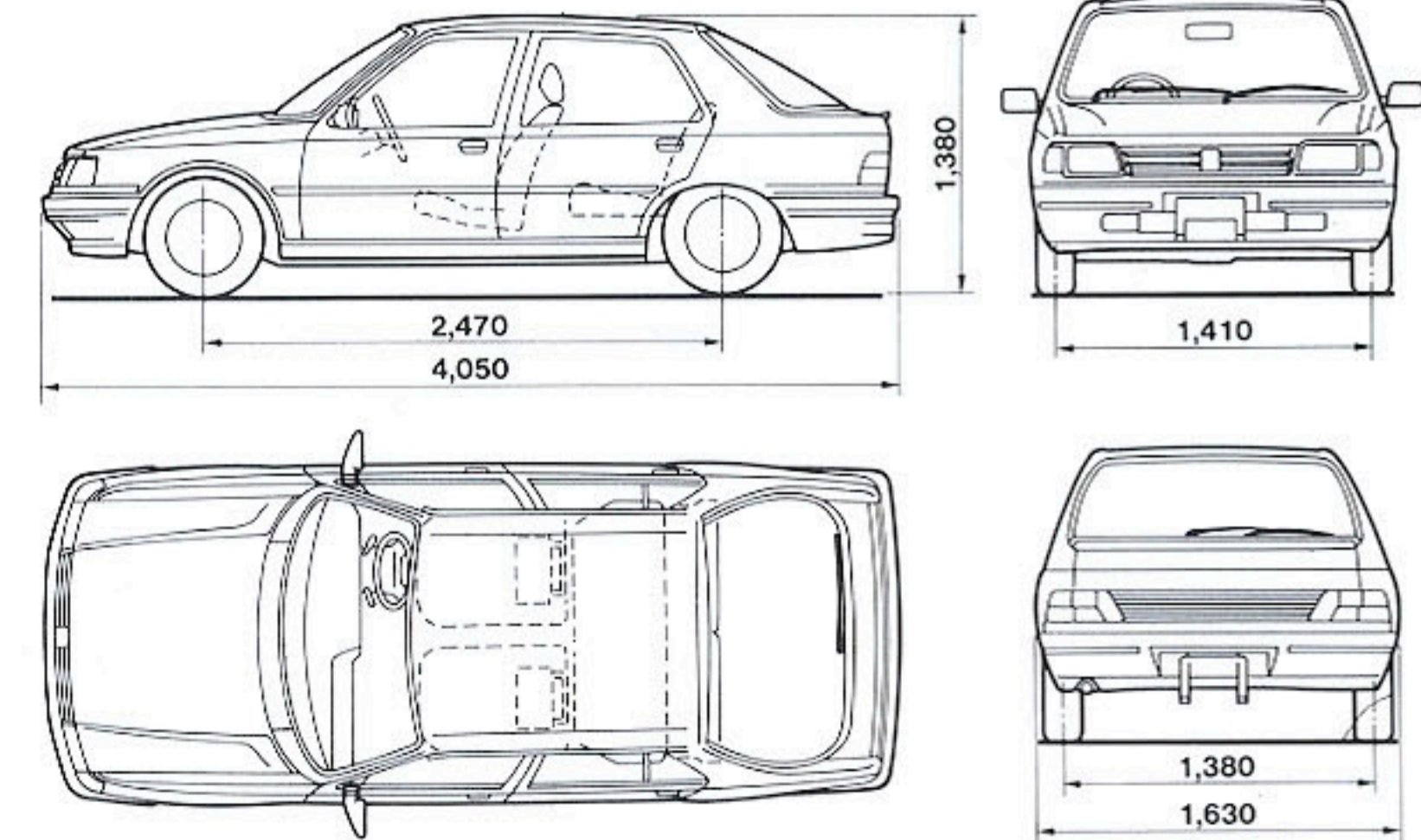
●CDオートチェンジャー (トランクルーム設置型CDプレイヤー、CD10枚を自動交換・最 大170分自動再生)
●オーディオ用 ワイヤレスリモコン

EQUIPMENT 309主要装備

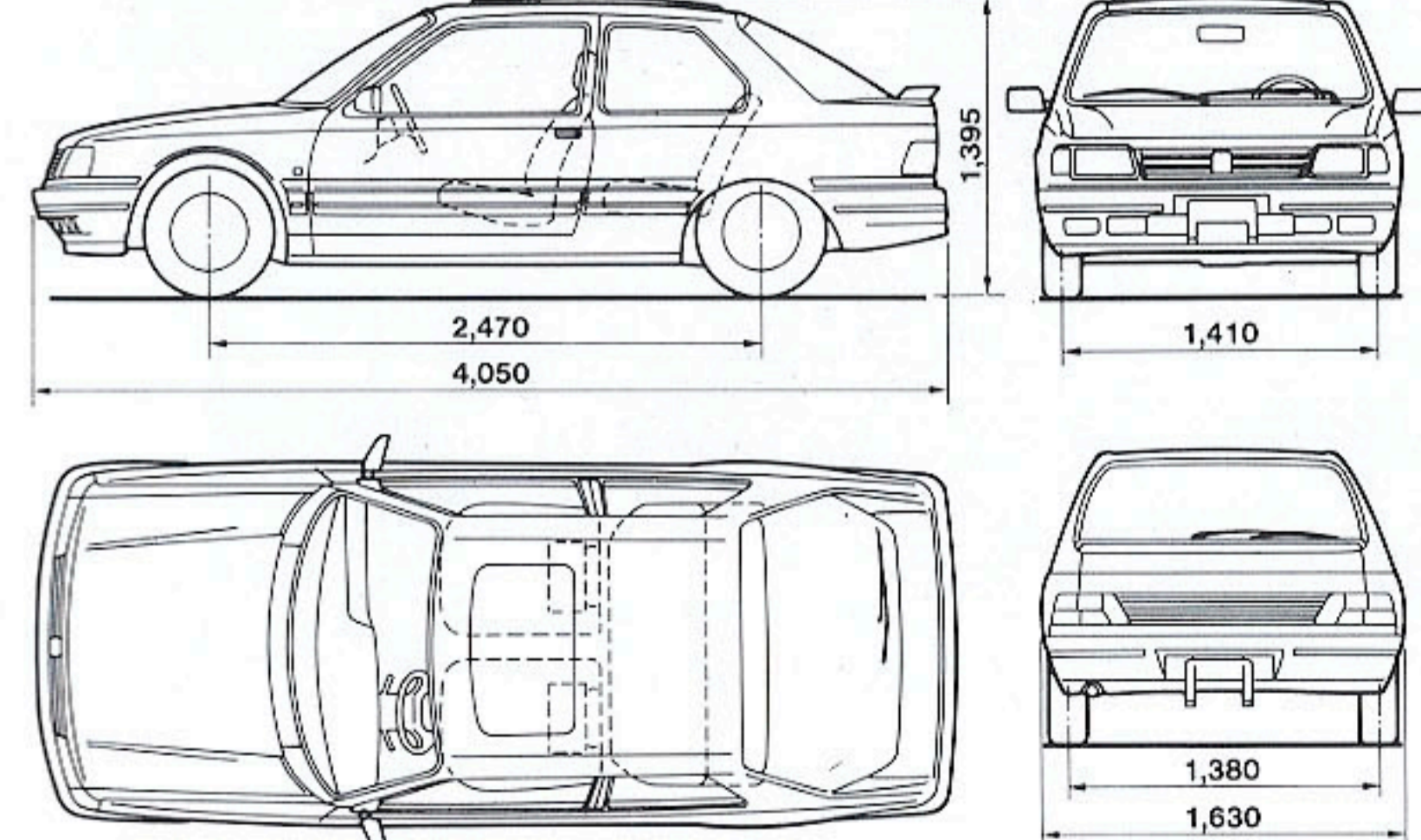
●タイプ	ブジョー309		
	SI 5ドア	GTI 3ドア	GTI 5ドア
ハンドル位置	右		●
	左	●	
トランスミッション	4速オートマチック	5速マニュアル	4速オートマチック
●快適装置			
エアコン	●	●	●
CDチェンジャー・コントローラー付		●	
AM/FMカセットステレオ		4スピーカー	
CDオートチェンジャー	▲	▲	▲
パワーステアリング	●	●	●
パワーウィンドー	●	●	●
集中ドアロック	●	●	●
キーレスエントリー		●	●
●インストルメントパネル			
タコメーター	●	●	●
油圧計	●	●	●
油温計	●	●	●
イルミネーションコントロール	●	●	●
ライト消し忘れ警告ブザー	●	●	●
ステアリングホイール	ウレタン4本スポーク		本皮革巻き4本スポーク
デジタルクロック	●	●	●
光軸レベリング装置	●	●	●
●インテリア			
サンバイザー		助手席バニティミラー付	
ドアアームレスト	●	●	●
防眩式ルームミラー	●	●	●
フロアカーペット	●	●	●
ルームマップ ランプ	●	●	●
●シート			
シート表皮		ベルベット	
フロントスポーツシート	●	●	●
※伸縮型シート(ダダホルディング)	●		●
フロントシートベルト		ELR 3点式	
リヤシートベルト		ELR 3点式 (中央席は2点式)	
●ポケットリア			
グローブボックス(照明付)	●	●	●
フロントドアポケット	●	●	●
リヤサイドポケット	●	●	●
センターコンソール	●	●	●
トランクルームランプ	●	●	●
●エクステリア			
ティントッドグラス	●	●	●
間欠ワイパー	●	●	●
リヤウィンドーワイパー/ウォッシャー	●	●	●
リヤウィンドーデフォグガー	●	●	●
スライドガラスサンルーフ	●	●	●
フロントエアボイラー	●	●	●
リヤエアボイラー	●	●	●
サイドプロテクションモール	●	●	●
ハロゲンヘッドランプ	●	●	●
ハロゲン補助ランプ	●	●	●
リヤフォグランプ	●	●	●
●その他			
アルミホイール		●	●
スポーツサスペンション		●	●
タイヤ	175/65 HR14		185/55 VR15

▲はオプション

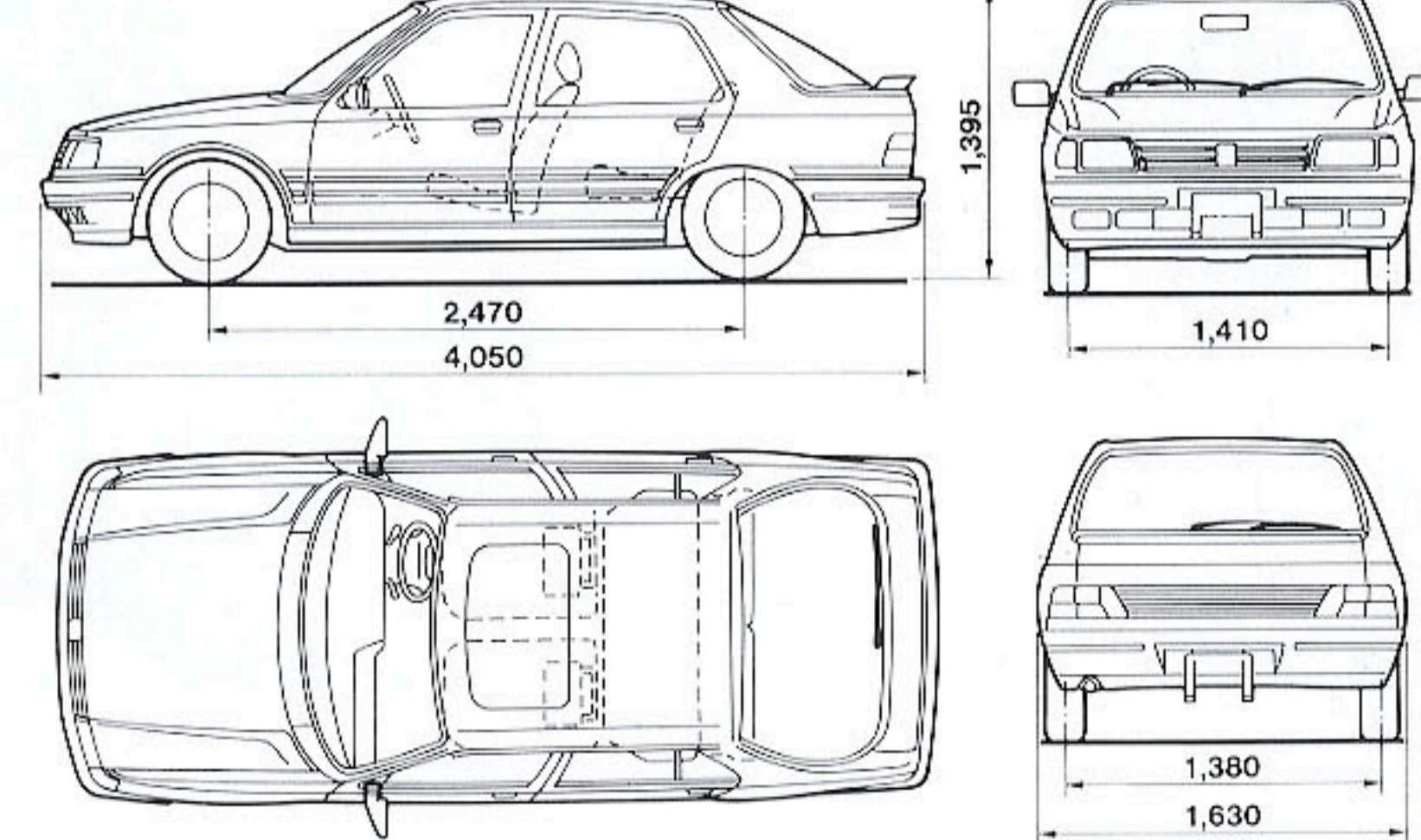
309 SI



309 GTI



309 GTI



●日本で販売されるクルマの仕様は、細部で写真と異なる場合があります。 ●この仕様は改良のため予告なく変更することがあります。 ●掲載写真の色は印刷のため実際と異なる場合があります。 ●安全は人と車をつくるもの。おたがい相手の立場にたって事故防止につとめよう。

先駆者の証し“ブジョーライオン”

ブジョー100年の伝統は、モータリゼーションの歴史そのものです。

自動車創成期から始まったコンペティション・シーンへの挑戦は、

グランプリ、ラリーなど、さまざまなステージを席捲、

次々と新しいムーブメントを創り出してきました。

ライオンのエンブレムは、その栄光を語るシンボルマーク。

自動車の進歩とともに、いつの時代も輝きを失うことのない、

先駆者の証しです。



1858

ジャン・ビエール、ジャン・フレデリックという二人のブジョー兄弟によって創設されたブジョー社は、当初、傘の骨組みや女性の装身具などの金版加工工務としてスタートします。間もなく、自動車を生み出すきっかけとなる、自転車の製造を開始。伝統のライオンエンブレムは、この年の誕生です。

1889

この年アルマン・ブジョーはブジョー初の蒸気式自動車を製造。しかし早々にこれに見切りをつけ、まだ可能性が未知だったガソリン式に着目します。翌年これを採用。1895年、史上初のレースバリールドローバリーに出場、優勝をさらいました。ブジョーに息づく伝統、「競争の精神」はここが原点です。

1920

1912年デビューの7.6ℓグランプリブジョーは世界初の4バルブDOHCエンジンを搭載。インディー500マイルをはじめ数々のレースに勝利します。ライオンのエンブレムは自動車創成期のGPシーンを、まさに席捲。ブジョーはレースで得た技術を生産車に還元、実用的な小型大衆車の製造に着手します。

1948

1920年代成功を取めた小型大衆車201シリーズの後継車203が登場。それまでの小型車の常識を破る高性能を低価格で実現。乗用車新時代の訪れを告げました。第2次大戦の傷が残るフランス各地を、自由の獲得を象徴するかのよう誇らし気に駆け巡ったのが、この盾型のライオンエンブレムです。

1960

1950-60年代にかけてブジョーは世界中のラリーに精力的に参戦します。並み居るラリースペシャルティたちを相手に、そのタフネスと天性の瞬発力を武器に数々のステージで勝利。1960年登場の404は1966-68年のサファリラリーに3年連続優勝、ライオンがライオンである所以を世に知らしめます。

1975

オイルショックによる景気停滞、公害問題などの社会背景をうけ、ブジョーも転換期を迎えます。マーケットの拡大とフルラインナップを目指し、初の本格的高級乗用車604、リッターカー104を開発。さらに、76年にはシトロエンを合併吸収。新時代に向けブジョーの新しいチャレンジが始まります。

1980~

WRC連続総合優勝やバリダカールラリー初優勝に代表される205T16の80年代ラリーシーンでの活躍は405T16に引き継がれ、87-90年バリダカール連覇を勝ち取ります。90年代に入るとブジョーは、スポーツカー―世界選手権という新しい舞台へ挑戦します。サーキットを疾走するのはブジョーエンジニアリングの結晶、新生905。そのフロントに輝くのは、勝利の歴史の象徴、ほかならぬブジョーライオンです。



**REAL FRENCH
CONCEPT**